

議会だより



あやがわ



綾川町成人式(1月3日)

新年の挨拶	2P
定例会のあらまし	2～3P
(学校体育館天井改修工事設計業務に150万円など)	
4委員会報告(一般会計・特別会計の補正予算など)	3～7P
一般質問に農業振興・観光対策などで6人が質問	8～11P
あの質問、あれからどんななっとな?	11P
平成25年度決算審査特別委員会報告	12～13P
町議会を見学して(羽床小学校児童による傍聴記)	14P

2015

NO. **35**

平成27年1月22日

新年のごあいさつ



綾川町議会議長

鈴木 義明

新年明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げますと共に、町民皆様にとりまして健やかな一年でありますよう、お祈り申し上げます。

旧年中は、町民皆様方から賜りました、綾川町議会運営における深いご理解とご協力、更にはご指導、ご支援に対し、衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、平成18年3月21日、2町合併により誕生いたしました綾川町も、早、平成27年度末には満10周年を迎えようとしております。

この間、皆様のご理解、ご協力の下、大型商業施設の誘致、あるいは琴電新駅の整備、更には、教育の町に相応した、生涯学習センターの整備、並びに昭和保育所の整備、また、少子化に伴い、将来を見据えた中での綾南中学校校舎の建築等、生活の利便性はもちろん、学校、社会教育施設等、広い分野にわたり施設の整備が整いつつあります。

これからも綾川町議会といたしましては、「いきいきと笑顔あふれる定住の町」を目指し、住んで良かったと言える町づくりのため、皆様とご一緒に町の将来像をしっかりとし見据えた取り組みをいたして参る所存であります。

どうか、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますと共に、町民皆様のご健康、ご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

綾川町議会

議長	鈴木 義明
副議長	田辺 健次
議員	宮本 勝利
議員	安藤 利光
議員	石井 和義
議員	野中 邦夫
議員	碓石 眞己
議員	河野 雅廣
議員	横井 薫
議員	福家利智子
議員	福家 功
議員	川崎 泰史
議員	井上 博道
議員	岡田 芳正
議員	三好 重徳
議員	大野 直樹



本会議1日目（12月9日）

12月定例会

子ども達を守る

学校体育館天井改修工事
設計業務に150万円

12月定例会は12月9日から12日までの会期として開催した。

本会議初日は「綾川町ひとり親家庭等医療費支給に関する条例の一部改正について」「平成26年度一般会計補正予算（第3号）」など議案15件、報告1件の説明があり、6議員による一般質問の後、提案された各議案を関係常任委員会に付託し散会した。

12日、本会議を再開し常任委員会・特別委員会の審議内容を各委員長が報告、採決の結果全ての議案を原案どおり可決した。

9月議会で継続審議になっていた「平成25年度一般会計及び特別会計の決算認定」は、10月に開催した決算審査特別委員会の審査内容について委員長報告、採決の結果、賛成多数で可決承認して定例会を閉会した。今回の傍聴は、羽床小学校の児童10名を含む16名であった。

補正予算

一般会計

歳入歳出予算総額93億900万円から、歳入歳出それぞれ7500万円を増額し、

総額を93億8400万円とした。

歳入の主なもの、地方交付税、国庫支出金、県支出金の増額、繰入金の減額。

歳出の主なもの、人事院勧告に基づく給与改定による増額。障害者自立支援施行事業費における扶助費、町単土地改良事業費の増額、小学校建設費等の増額。

歳入の主なもの、地方交付税、国庫支出金、県支出金の増額、繰入金の減額。

特別会計

●国民健康保険

保険給付費等の増額により、総額を30億6518万円。

●国民健康保険診療所

一般管理費、財政調整基金積立金等の増額により、総額を2億2374万8000円。

●後期高齢者医療

後期高齢者医療広域連合納付金等の減額により、総額を3億1806万8000円。

●介護保険

保険給付費、基金積立金等の増額により、総額を28億917万円。

●火葬事業

綾川斎苑管理運営費の増額により、総額を4675万1000円。

●下水道事業

一般管理費等の減額により、総額を4億4634万4000円。

●介護老人保健施設

施設運営事業外収益の増額により、施設事業収益を3億4183万2000円。

●水道事業

水道事業費用を減額し、5億6461万2000円。

固定資産評価員の選任意意

退任により欠員になっていた固定資産評価員の選任に同意した。

前田 武俊氏（62歳）

綾川町滝宮97番地3



臨時会 11/28

11月28日に、第6回臨時会を開会し、職員の給与と条例の一部改正についての議案及び工事請負契約の締結について等4件を原案どおり可決した。

職員の給与と条例の一部改正

8月7日に出された人事院勧告に基づき、給与改定を行うもの。若年層に重点を置き、平均0.3%引き上げるとともに、勤勉手当を0・15ヵ月分増額支給した。

工事請負契約の締結

●平成26年度綾川町非常用発電設備工事
契約金額
7387万2000円
(消費税込み)

契約者

三和電気土木工事(株)

高松営業所

所長 藤田 博樹

工期

平成26年11月28日～

平成27年3月31日

問 旧綾上町地域の4公民館に、非常用発電設備を整備するものだが、請負業者はどのような業者か。

答 県内に事業所を持つAランクの業者で、陶病院の電気設備工事の実績がある。

総務委員会 12/10

総務課関係

総務費では電子計算管理運営費で、マイナンバー制度導入に伴うシステム改修等の費用、工業統計調査費では、12月31日現在で実施される工業統計調査に係る費用の新規計上である。

税務課関係

固定資産税における住宅用地の課税標準の特例が未適用であった宅地に対しての還付金及び還付加算金の発生に伴う補正、香川滞納整理機構への徴収実績に伴う負担金の新規計上である。

問 税務管理費の還付金

は当初予算の計上漏れではないのか、また、対象となる戸数や還付の金額はどれくらいか。

答 平成27年度の土地の評価替えに向けた評価基準の見直しに伴い、宅地を調査した結果、住宅用地に対する課税標準の特例が適用されていなかったもので、追加の補正であり、該当する戸数は約30戸、還付の金額は宅地の面積や特例適用の開始年によって変わる。

教育委員会関係

小学校費は、管理運営費の県委託事業の学力向上モデル校事業に係る研究費及び教材費。

教育振興費は、県補助事業の原子力・エネルギー教育支援事業に係る理科備品購入費。

小学校建設費は、体育館の天井材落下防止対策工事に係る設計委託及び滝宮小学校消火栓ポンプ改修工事に伴う増額補正等。

問 体育館の天井材落下防止対策工事の計画はどのよう
答 町の5ヵ年計画に基づき、旧綾南町の小学校4校と綾上中学校が対象となり、平成27年度は羽床小学校を予定している。翌年度以降は、学校運営と調整し、2校ずつ実施する予定である。



羽床小学校体育館

中学校費は、教育振興費の県補助事業の原子力・エネルギー教育支援事業に係る理科備品購入費。

共同調理場運営費の給食調理員人件費、給水管修繕工事による増額補正、及び、学校給食費の綾南中学校給食民間委託に係る給食調理員人件費の減額補正である。

指定管理者の指定

指定管理期間の満了に伴い、綾川町立生涯学習センター及び綾川町立綾上図書館につき、平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間、(株)図書館流通センターを指定管理者として指定するもので、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を求めるものである。

問 蔵書のなかで、寄贈された図書はどのくらいあって、どのように管理しているのか。民間の評価員を置く計画はないか。

答 寄贈は月平均10冊程度で、原則としてすべて

配架している。住民の意見はアンケートにより把握しており、民間評価員については今後検討をする。

綾川町営バス路線見直し及びデマンドタクシー運行

路線の見直しでは、運行頻度を向上させるとともに、路線間の接続を見直す。デマンドタクシーでは、千正地区のバス停を一部縮小することから、同地区にも導入する。坂出綾川線バス実証実験運行については平成27年度末まで延長する。なお、4月1日からは現在の路線を一部変更して実施する。

問 デマンドタクシーは、自宅まで送迎できないか。

答 補助金の関係や、タクシー会社の本業を圧迫するなどの問題から、難しい。デマンドタクシーは、あくまで路線バスの代替であるので、自宅までの送迎が必要な場合は、タクシー等を利用していただきたい。



坂出綾川線バス実証実験運行

総務委員協議会 11/25

綾川町職員の給与に関する条例の一部改正

問 約7年ぶりの上昇となるが、再度、来年度からまた下がる傾向にあると聞か。

答 平成27年度における給与の総合的な見直しにおいては、地域格差の関係で低い所との調整を図るためである。これに關しても若年層に配慮して、50歳後半部分の高位号級の層について高額所得で見直しを実施する。なお、綾川町は現在、高松市等への町外勤務所への地域手当等に関しては対応できている関係から、今後これらを検討していき

たい。

綾川町災害による被災者に対する町税の減免に関する規則の一部改正

固定資産税は毎年1月1日現在で土地・家屋・償却資産の所有者に課税がなされている。しかし、今までは大規模災害について減免制度を適用していたが、今後は個別の災害に対しても対応できるようにしたい。内容は、震災、風水害、火災を受けた固定資産で、個人・法人を問わず損害の程度に応じて減免するもので、平成27年1月1日の施行とする。

綾川町税に関する延滞金の減免の取扱要綱

現在、町税の滞納者に対する延滞金の減免規定は設けていない。しかし、地方税法では市町村長は、納期限までに税金を納付しなかったことについて、やむを得ない事由があると認める場合においては延滞金の減免ができるとなっている。ただし、誰でも減免できるのでは問題があり、延滞金の減免事由に該当する者で、本税を納付後に申請することにより、納付が困難であったと認められる期間に対応する部分の延滞金を減免するものである。この要綱は平成27年1月1日からの施行とする。

要件を審査する機関はどのように考えているのか。また、延滞金の減免をする審査委員会の設置も必要でないか。

答 全国的には延滞金減免規則や要綱を制定している自治体は多くある。また、納付交渉の中で対応しているところもある。

上位法の関係から何らかの要綱を制定する必要がある。県内では高松市のように規則を制定しているところもあるが、全体的には個別の納付交渉などから判断した内容によって対応していると思われる。また、審査委員会を設置するかどうかは検討したい。

綾川町放課後児童クラブ運営規程

条例制定については、9月定例会において議会の議決をいただいたもので、この運営規程については厚生労働省令に定めるところに従い制定するものである。なお、内容については、利用対象児童、利用料、利用料の減免、開所時間等に関し、資料を基に詳細な説明があった。

保育料等について段階的に考える必要があるのではないか。

答 県内の平均値での考えである。金額の中には、おやつ代も含まれている。

綾川町ひとり親家庭等医療費支給に関する条例の一部改正

次世代育成支援対策推進法等の一部改正により「母子及び寡婦福祉法」の名称が「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に改められたこと、及び、「配偶者のない男子」についての定義規定が加えられたことに伴い、法を引用している条例の一部を改正。

綾川町国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の額を改正。但し、出産育児一時金の総額(42万円)に変更はない。

平成26年度綾川町一般会計補正予算

歳出の主なものは、国民健康保険特別会計繰出金において、事務費繰出金及び特別総合保健施設運営事業繰出金の増額補正。後期高齢者医療事業

費において、事務費繰出金の減額、拠出金の確定に伴う保険基盤安定繰出金の減額補正。障害者自立支援施行事業費の扶助費の増額補正、介護保健事業特別会計繰出金で事業精査による増額補正。

平成26年度綾川町国民健康保険特別会計補正予算

歳出の主なものは、人件費の増額補正、一般被保険者療養給付費において、給付の執行見込による増額補正。

平成26年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算

歳出の主なものは、人件費の増額補正、超音波骨密度測定装置の購入に要する医療用機械器具費の増額補正。

問 超音波骨密度測定装置について、なぜ修理できない状態となったのか。

答 足を乗せて測るという測定方法のため。また、建物内での持ち運びが容易で使用頻度が高いため。

平成26年度綾川町介護保険特別会計補正予算

歳出の主なものは、人件費等の増額補正、居宅介護サービス給付費の増額補正、介護予防ケアマネジメント事業費の増額補正等。

平成26年度綾川町介護老人保健施設事業会計補正予算

施設事業収益の施設運営事業外収益において1051万1千円を増額補正するもので、新会計基準移行に伴うものである。

平成26年度上半期介護老人保健施設あやがわの状況

純利益で昨年同期に対して、約1711万円の増加。
問 空室が出ているようにだが、状況はどのようなになっているのか。

答 介護職員の退職や産休があり、職員の適正配置ができず、やむを得ず、2階の1ユニットを休止している。雇用体系等を検討し職員確保に努める。



やすらぎの丘

綾川斎苑の指定管理者

平成24年4月から「(株)五輪」の指定管理により運営され、平成27年3月末で1期目が終了する。

平成27年4月からの3年間についても、引き続き「(株)五輪」を指定管理者とする。

厚生委員協議会 11/27

総合保健福祉計画策定方針
計画の策定は、地域福

臨時福祉給付金等の給付申請状況

臨時福祉給付金における申請状況について、対象者数4772人の内、申請済数が3469人で、申請率は73%である。また、子ども世帯に対する給付に関しては、対象者数2894人中、申請済者数2593人で、申請率は90%である。なお、未申請者に対しては、各戸に再度通知し、広報誌にも掲載している。

問 地域包括ケアに関し一人世帯等の住民に対する情報の共有はどのようにしているか。また、システムの対応をどうするか。

答 個人情報保護の観点から慎重な取扱いが必要である。現在、地域包括ケア会議やケアマネージャーと協議し、個別に対応している。

平成27年度からの子ども子育て支援新制度における説明会

各保育所並びに幼稚園で7回にわたり実施し、参加者は総勢271名。

参加者は総勢271名。

問 避難行動要支援者に対しては消防団への情報提供が必要ではないか。

答 消防団への情報提供は、関係部局と協議する。

問 要介護の方の在宅復帰にあたり、家族の方への負担が増加する。そうした対象世帯に対する助成は考えられないか。

答 既に、町単独事業により、在宅寝たきり老人等については、おむつ給付事業等を実施している。また、在宅での介護については、各種サービスを利用したケアプランにより対応していくことになる。

問 障害者福祉計画に関し、増加しつつある障害者を地域で支えていく対策が必要ではないか。特に、障害者の方々が働ける場所の提供が重要であると考ええる。

答 企業規模により、障害者雇用率も決められている。障害者の就業については、今後の計画の中で検討したい。

一般会計補正予算

「人・農地プラン」の様式等が大幅に変更になったことに伴う委託料の補正。

国の農地の出し手に対する支援である、「経営転換協力金」の補正。

町管理農道「改善精華2号線」の修繕工事費の補正。

道の駅滝宮施設管理事業費は、高圧受電設備であるキュービクルの老朽化に伴う、改修工事費の補正。

土木費の土木総務管理費及び住宅管理費は、人事院勧告による人件費の増額補正。

下水道事業特別会計補正予算

4月の人事異動に伴う減額補正と人事院勧告に伴う増額補正。

水道事業会計補正予算

4月の人事異動に伴う職員1名減による減額と

人事院勧告に伴う補正。

問 土砂災害警戒区域等の個別の周知方法は、どのようにするのか。

答 今年度作成される「防災マップ等」を全戸配布する予定である。

問 綾川町営住宅等長寿命化計画とは。

答 計画的に修繕等を行えば十分に住宅の機能は維持できる。今後、町営住宅自体のあり方等について検討する。

綾南プラザ

平成26年度第18期の4月から11月までの経営状況について、入場者、売上高概算実績表及び損益計算書に基づき説明があった。

問 集客に向けたマーケティング調査の進捗は。

答 市場や温浴施設の調査結果も受けて1月の委員協議会で報告したい。

問 道の駅産直において、売り場のレイアウト、陳列台の着色などを検討

しては。

答 他の施設も参考にし、職員の掛け声など明るい接遇等にも取り組んでいきたい。

問 米の買入価格の下落に対する価格補填については。

答 町単独では無いが、近隣市町村の考え方を考慮したい。

問 来年度「おいでまい」が飼料用米に転換される心配があるが。

答 飼料用米の品種や、出荷施設など流通体制の整備の検討もしている状況であり、特Aに認定された「おいでまい」を飼料用米に転換するには抵抗感があり県に要望する。

建設経済委員会協議会11/27字の区域の変更

羽床上東地区の第2工区における換地処分の実施にあたり新しい字の区域に変更するもので、詳細な説明があった。



道の駅滝宮 ふれあい産直市

問 香川県広域水道事業参加について今後における町の方針は。

答 業務の運営、組織体制・職員、施設整備、財政運営・水道料金・費用負担等を鑑み、議会と協議のもとに進めたい。

問 下水道減量認定に関する事務取扱要領(案)とは。

答 大口下水道使用料の算定を水道使用量から排水メーター設置による下水道排除量とする出口管理への変更であり、「下水道減量認定に関する事務取扱要領」等を定めた上で、下水道条例、規則に基づき適正な減量認定となるよう対応して行く。

問 香川県全県域生活排水処理構想について。

答 次期処理構想において2ヵ所の農業集落排水事業及び下水道認可区域外の下水道計画区域は、合併処理浄化槽による整備とする方向で、進めて行く。

学校等再編整備
調査特別委員会

10/27

学校等再編整備
調査特別委員会

12/11

問 学校の再編整備にか

かわる答申が一人歩きし、保護者や住民に誤解を与えている。今までの経緯の説明を求める。

答 12月の委員会までに資料を用意する。

問 学校等再編整備検討

委員会の答申内容は、

答 あくまでも検討委員会の答申であり、その答申が町広報誌に掲載されている。その後、町議会、学校等再編調査特別委員

会が設置され、内容等はPTA等の関係団体へ随時周知しており、また、議会広報にも掲載している。

問 学校等再編整備につ

いて町民、保護者、生徒等への十分な説明を。

答 来年度は町民、保護者、生徒等への説明を十分にを行い、広く意見を聞く場を設けたい。

問 学校は地域の拠

り所であり、小規模学校は、即、統合との結論はどうか。

答 町としては、国の示す定数等を基本

と考え、小規模学校において、加配教員・町講師の配置によ

り、1学年2学級の確保に努め、小規模

学校の特色を見出し

ている。しかし、町

講師確保は厳しい状況であるので、学級

編成において、基準の見直しを県・国へ要望していく。

綾南中学校 新校舎見学

問 文科省は、学校統合推進の見直しを図っているが。

答 財務省案で、学級編成を35人から40人に戻し、財源の確保を検討しているが、町としては、財

状況も考慮しつつ、状況に応じた教育行政、学校運営に努めていきたい。



平成22年度に行われた学校等再編整備住民説明会

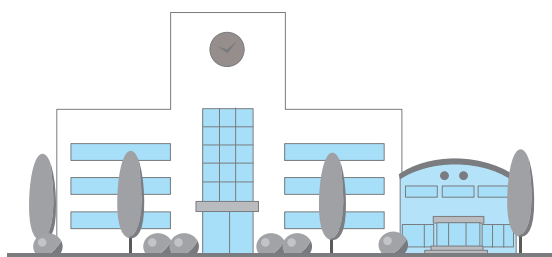
問 夏休み短縮、土曜授業の予定はどう考えているか。

答 内容により実施可能なものもあると思われるが、他市町の状況及び学校現場とも十分協議し検討していきたい。学童保育アンケートから土曜日関連のニーズの把握を実施中である。

問 消費税率10%が先送り

になったが、子ども・子育て新制度に影響があるのか。

答 子ども・子育て新制度については予定どおり実施する方針と聞いている。



井上 博道 議員



井上 博道 議員

Q 町内のイノシシ対策を

どのようにするのか

A 有害鳥獣被害を減らすよう

今後も努力する

問 今年も、イノシシ被害が香川県内の至る所で発生

した。本町においても、農作物被害、田畑荒らし等があった。今後、イノシシに加え、猿、鹿、その他の有害鳥獣の増加、被害が懸念される。本町の具体的に実効のある考えとスケジュー

ルを伺う。

町長 綾川町鳥獣被害防止

計画を作成して、有害鳥獣対策を講じている。綾川町鳥獣被害対策協議会を構成する関係機関と連携協力しながら、迅速かつ適切な対応に努め、官民一体となつて有害鳥獣の被害を少しでも

も減らせるよう、今後も努力する。

町民参加型の町道維持

てはどうか

A 今後も、快適で安全な町づくりに一層努力する

町道パトロール情報を町と町民がインターネットで共有する等、町民参加型の町道維持管理制度を導入してはどうか。

町長 行政の目標である住民満足度を高める選択肢の一つとして、インターネット活用も必要と考えるが、

問 路面の劣化、部分的な欠損等、

課題もあり、精査する時間が必要。将来の研究課題と

する。今後も、快適で安全な町づくりに一層努力する。



町道羽床屯所線の路肩欠損部分

永富池



平成23年度から、県広

域水道事業体協議会を立ち上げ、県内の水道事業を一つに統合する広域化が進められている。水が豊富な綾



安藤 利光 議員

Q 安全でおいしい水道水を

A 企業団への参画は、

議会と十分協議する

A 水稲生産者の作付け意欲の減退に
ならぬよう対応する

平成26年度産米の概算

金は、60 kgで1万円を切るという米価暴落が、米生産者に深刻な影響を与えてい

- ① 実態をつかむ相談窓口を設ける
- ② 過剰米の処理を国へ働きかける

③ 地場米の売り込みに協力

し、農家に直接支払交付金の補てん、生産資材への助成を行う緊急対策を

町長 国で米価変動に対する減収補てん措置、米の直接支払交付金の生産者への早期交付、米の保管料の支援、また、日本政策金融公庫の繋ぎ資金の融資の円滑化などの対応がなされている。町独自の対応策は予定していないが、次年度以降の作付け意欲の減退にならないように、このような対応策の情報を水稻生産者に周知していく。

町長 国で米価変動に対す



福家利智子 議員

Q 耕作放棄地対策と水田農業の将来は

A 地域農業の維持発展に努める

問 国においては、農地中間管理機構による対策が打ち出されているが、広範な農地の集積、農業基盤の整備、受け皿となる人の確保が前提であり、その条件は容易ではなく、地域での進展には疑問符といえる。

綾川町でも、農地の貸し手と借り手に大きなギャップを生じており、この制度の機能を生かし効果を生むには相当の対策が必要。2018年度から米の生産調整が廃止され、今後の水田農業のあり方によっては、

耕作放棄地が加速する心配もある。この観点から、水田農業の将来と耕作放棄地の対策を伺う。

町長 地域農業の安定と継続的な営農を維持するには、生産基盤の整備、担い手への農地集積、綾歌南部農業の農地集積、綾歌南部農業

新規就農者の初期投資の軽減や、地域社会での、円滑な定着化が図られるように取り組んでいる。また、中山間地域や担い手がいらない地域、集落においては、地域の農地を地域で守っていく為に、特定団体からの「のれん分け」等による集落営農の組織化、



これからの水田農業は

Q 地域の方が集える

公園の設置を

A 適正な配置を目指す



大野直樹 議員

問 公園は運動やレクリエーション、また災害時には避難施設や防災拠点



掛川市駅前公園

となるなど、非常に大きな役割を担っている。最近では子育てをしている方にとっても重要な集いの場所であり、公園の整備や設置を望む声を多く聞く。老朽化した遊具の撤去や整備、また綾川町のシンボルとした

都市公園を、現在計画中の都市計画マスタープランに積極的に組み入れてみては。

町長 気軽に、また身近に公園を利用できる環境を目指し、適性な公園の配置を目指す。公園の配置については公共施設用地や空き地、

問 町を訪れる方の目的は人それぞれだが、その小さな情報を誰が発信するのが重要である。本町には、滝宮天満宮や主基斎田をはじめ多くの観光名所がある。これら発信できる子供たちや住民を増やし、広告塔になっていただきたい。町民観光大使や子供観光大使の設立を考えてみては。

町長 多様化した、観光ニーズに対応した情報発信が最も重要であり、大きな課題である。町の新たな魅力を創出するために、町観光協会のあり方について検討を行い、官民一体となって、地域にしかない観光魅力の発信を行い、その情報を発信していく体制づくりを行なっていく計画である。町民観光大使や、子供観光大使の設立については、新たな体制づくりができた観光協会において、検討していく。



岡田 芳正 議員

Q 深刻化する空き家問題

A 関係各課連携のもとに

横断的に取り組む

問 現在、諸般の事情により適切な管理が行われていない空き家等が見受けられる。著しく景観を損なっている家屋、老朽化が進み周辺への生活環境、及び防犯が不適切であろうと思われる家屋が問題になりつつある。

空き家対策に適切な対応を行わなければ、環境・防災・防犯限界集落などの難題に直面し、町政に悪影響を及ぼすことが危惧される。既に問題を解決すべく国会において空き家対策特別措置法が可決成立となっている。

これに伴い空き家の活用、指導を今後どのように町行政として計画策定を持って取り組むのか。

町長 町の場合は、推計値で、1460戸、「空き家率」15・1%であると認識している。空き家対策特別措置法が、

去る11月27日に公布されたが、所有者等が適切に維持管理することが、町の基本的な考えである。また、特別措置法では、倒壊等著しく保安上危険、衛生上有害となる、空き家等に対する措置も明確化されており、今後、国の定める基本指針を参考に空き家対策に取り組んでいく。そして、町としての計画の策定は、例えば、町内への移住や、定住を希望する方の住まい確保支援のため、



旧柏原分校

Q 観光事業の有効性と観光

A 多様なニーズに対する

間接的役割と新体制を整備する

疑問がある。しかしながら、観光事業は応用が考えられ、例えば情報発信や、文化財には至らない史跡等の活用、農業産業戦略など、その範囲は果てしなく広い。



川崎 泰史 議員

そこで我が町において有効な観光事業は、どのようなものが考えられるのか。

業における間接的な役割は大きい。

これらを行うべき観光協会は、今後、会員の拡充を行い、

また、事業遂行のための組織として、観光協会はどのようなべきか、質問する。

多様化した観光ニーズに対し、視点や発想を大きく転換する必要があるため、町観光協会は新たな体制づくりを行っていきたい。住民が気づかない、固有の地域資源の再認識、掘り起しを行い、地域活性化を図るための取り組みは、大切である。まずは、綾川町の自然や文化等を活かした施設、行事等の情報発信に重点を置き、綾川町のイメージアップを図ることが重要。こ

れらを行うべき観光協会は、今後、会員の拡充を行い、フォトコンテストやホームページの立ち上げ等、地域の情報発信を拡大していく。

町は、観光協会の活動を支援し、共に、観光振興策に取り組んでいく。



まち歩き（弘法庵）

問 綾川町の現在の観光資源は、採算性及び有効性に

業戦略など、その範囲は果てしなく広い。

町長 町では直接的な観光収入は多くないが、観光事

民が気づかない、固有の地

域資源の再認識、掘り起し

れらを行うべき観光協会は、

ほかにもこんな
質問がありました

介護サービスの提供を引き下げるように

問 ①新しい総合事業の実

施にあたり、予算は十分確保し介護サービスの提供を引き下げる。

②介護保険利用希望者は要介護認定の対象とする。

③多様なサービスについての確保の見直しは。

④第6期介護保険計画状況を公表する。また、介護保険料の引き上げはしないように。

答 多様なサービスの確保は、介護予防給付の中で訪問介護と通所介護が、地域支援事業に移行する。

訪問介護は、介護福祉士の専門性を活かした介護内容と、住民ボランティアで支援可能な内容がある。

通所介護は、社会福祉協議会による、生きがいデイサービス等があり、今後可能かどうか検討する。

第6期介護事業計画は策定中である。給付費が増えており、介護保険料の引き上げは止むを得ない。

子育てがしやすい町に

問 人口が減少する中、地域の元気をつくる施策が求められている。三木町では幼稚園・保育所の24時間保育を実施し、また、善通寺市も県内で初めて幼稚園の授業料の無料化を、第一子から行う等、子育てがしやすいと保護者から喜ばれ、転入者の動機のひとつになっているが。

答 町の保育施設は、町立で管理・運営している。また、一時保育、延長保育、

加配職員の充実等の施策を実施し、長時間保育は、ファミリーサポート事業を活用し、時間外の体制を整えている。

保育所入所以前の子ども・保護者に対する支援は、子育て支援センターの設置による、子育て親子の居場所づくりや、相談事業等の実施、妊娠・出産にあたり産後、助産所でのショートステイやデイケアが受けられる。



昭和保育所

あの質問、あれからどんななっとんな？

問 柔軟かつ積極的な街路灯設置体制づくりと運用が必要では。

答 高松西警察署等と協議をしながら、防犯灯・道路照明灯を設置し、安全・安心のまちづくりに取り組む。

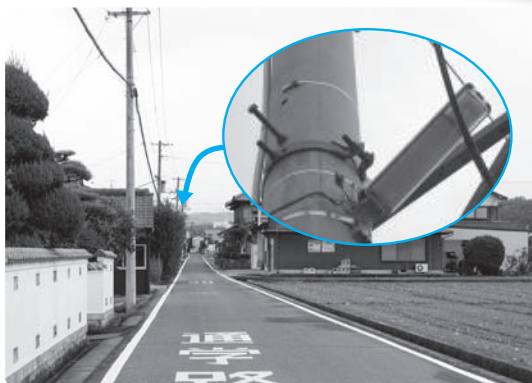
(平成26年6月定例会)

問 公用車に青色回転灯を整備し事故のない住みよい町にしてみようか。

答 公務中の巡回を、青色回転灯装備車両として公安委員会が認めれば問題はない。安全・安心のまちづくりに取り組む。

(平成24年12月定例会)

今は…



道路照明灯が設置された町道堤下田井線

解決



防犯啓発・交通事故防止に貢献

び企業会計の決算を審査・認定

財政調整基金に5億円を積み立て

平成25年度の決算審査を行う、決算審査特別委員会（委員長 川崎泰史 他6名）は、10月29日、30日、31日の3日間開会し、慎重に審議した結果、一般会計及び特別会計、企業会計の決算をいずれも認定した。

そのうち5億円を財政調整基金に積み立て、残金のうち1億613万5346円を翌年度に繰り越した。

総務関係

問 自治会組織への未加入者が多くいて、書類の個人送付に多く費用を要しているが。

答 町の広報誌などの個別発送については、自治会未加入世帯が約1700世帯と増えており、また、費用も約20万円近く要している。現在、ゆうメールを活用し500gまでを88円で発送している。今後、郵便局と価格交渉を検討したい。

問 町有地の貸出先と賃借料は。

答 土地でイオンに375万円、コーナンに194万円、観光農

園でJAに80万円等で貸している。

問 ふるさと納税寄付金に對しての町の対応は。

答 記念品として、寄付3万円以上に対して5000円以内で町の特産品を道の駅に選定をお願いし送っている。

能である。利用者は費用として3000円を負担しているが、イオンの商品券で同額分受け取っている。今後どのように運用するか検討したい。

問 スクールソーシャルワーカーを2名雇用しているが、どのような指導をされているのか。

答 小学校1名、中学校1名雇用している。社会福祉士として、各学校を順次移動し、先生方の相談にのったり、また、子どもたちの中に入り、子どもの態度や様子を見てアドバイスも行っている。平成26年度は町単独で雇用している。

厚生関係

問 ゴミステーション設置基準は。

問 無縁墓の対策は。

答 無縁墓は将来、出来てくると考えられる。また、「新羽床墓園」と「精華墓



決算審査特別委員会

一般会計

歳入

94億2912万7714

円

歳出

84億5388万7449

円

差引

9億7524万265円



ことでん綾川駅のパークアンドライド

問 綾川駅のパークアンドライドを管理している(株)綾南ブラザはどのように。

答 現在、30台の駐車が可

25年度 一般会計と特別会計及

地」において無縁墓をまつ
っているが、お骨の受け入
れはできる。無縁墓は正規
の手続き後撤去し、区画を
更地とすれば新たに利用許
ができる。

問 子宮頸癌ワクチン接種
者からの被害報告は。

答 子宮頸癌ワクチンの接
種を受けた113人に健康被害
の報告は無い。

問 介護老人保健施設への
入所待機状況は。

答 入所待機的人数は20名
で8割が町内であるとのこ
と。

問 ジェネリック医薬品の
推進は。

答 治療内容で必ずしも後
発医薬品が存在しない場合
がある。さらなる後発医薬
品の推進を進めていきたい。

問 陶病院・診療所の医師
の確保は。

答 僻地医療への支援医師
不足を解消する為に、来年
に向けて県との協議を今後
も進めて行く。診療所につ
いては正規の町職としての

医師採用検討も含めて医師
確保に努める。訪問医療の
ニーズ増大が予測され、医
師の負担軽減を含めて検討
していきたい。



陶病院

建設経済関係
水道事業会計

問 未払い金発生理由は。

答 事業会計の締め日が3
月31日で、一般会計の出納
締め日より早いため多くの
未払いが発生している。

問 老朽管の修繕は。

答 古いからと言って漏れ
るわけではなく、道路状態
などで漏水が多い箇所を中
心に修繕計画をしている。
また敷設年度及び、道路状
況、漏水状況を鑑みて、計
画的工事を進めている。

問 給水人口減の理由は。

答 人口の自然減である。
なお、アパート等の増加、
また水道を止めた場合でも
給水栓は残しているため給
水栓数は増えている。

下水道事業特別会計

問 台帳データの更新費と
は。

答 毎年度、工事を行なっ
た箇所の管渠やマンホール、
宅内取付管のそれぞれの位
置や種類、延長などを調査、
図面をもって新たに調製し、
これをシステムで管理運用
するために要した経費であ
る。

問 未接続者の加入促進は。

答 下水道台帳システムと
水道料金システムを突合し、
より正確な未接続者リスト
を作成したうえで、世帯の

状況にあわせた加入促進が
図られるよう準備を進めて
いる。

建設課関係

問 町道外側線の補修は。

答 舗装の修繕時に対応す
る。一部の消えている箇所
も報告があれば対応してい
く。

問 舗装修繕の基準は。

答 町単独では痛み具合を
見ながら、また、地元要望
のある箇所なども、順次計
画的に修繕を行っている。

経済課関係

問 JA補助事業の返還金
とは。

答 カントリーエレベータ
12号基の色彩選別機導入
に際して、事業採択要件と
して、利用率低下の改善が
求められ、2号基のみの利
用とする為に、1号基を財
産処分することになった。
これに伴い、32年経過した
残存簿価に対する国庫補助
金等を返還した。

問 高鉢山キャンプ場の管
理費は。

答 風穴洞等の管理が必要
であるが、キャンプ場とし
ての管理については、今後
検討していきたい。

問 若人ふれあい事業の成
果は。

答 平成25年度は2回開催
これまで8回開催している。
そして、カップルが49組成
立しており、1組のご成婚
が確認されている。今後も
事業補助を続けていく。



若人ふれあい事業

町議会を見学して 綾川町立羽床小学校



熱心に傍聴している羽床小学校の児童



6年 三好 翔太
みよし しょうた

町議会を傍聴して、議題にあったイノシシの起こす被害についてよくも考えてみました。

多くの祖父も祖母も畑で仕事をしています。イノシシの被害を受けないために、ネットを張ったり、電線を設置したりしています。でも、このような対策をしていない人たちもいると思います。だから、イノシシの被害がない町にしていく必要があると思いました。

若い人たちの中には、他人のことだと思っている人もいるかもしれません。でも、これはみんなの問題です。若い人たちにも、この問題についてぜひ考えてほしいと思います。町民と町が一体となってこの問題を解決してほしいです。

この他にも、町にはたくさんさんの問題があります。問題について対策を考えるのが町議会だと分かりました。ほかたちも問題についてしっかりと考え、住みやすい町にしていきたいと思いました。



6年 小田 桃香
おだ ももか

私は、初め町議会ではどんなことを話し合っているのかあまり知りませんでした。でも町議会を傍聴して分かったことが二つあります。

一つ目は、議員さんが質問すると、町長さんが答えていて、いろいろな意見を聞いて町のことを進めているということなんです。

二つ目は、住民が困っていることや、安心・安全に

暮らすためにどうすればいいか、解決策をみんなで考えていたことです。町議会は、私たちの町をどのようにすれば住みやすくなるかを話し合っているということがよく分かりました。

びつくりしたこともありま。それは、男性の議員さんが多くて、女性の議員さんが一人しかいなかったことです。もう少し女性の議員さんが増えるといいなと思いました。

議員さんは、みんなのことを思って話し合っているので大変だと思いました。

あなたも、議会を傍聴してみませんか。

手続きは住所・氏名・年齢を記入だけです。
次の定例会は、3月の予定です。

編集後記

●読者の皆様、明けましておめでとうございます。昨年末は衆議院選挙がありましたが、戦後最低の投票率となりました。町民の皆様、国政と共に町政にも興味を持っていただけるよう、綾川町議会としてもさらに精進してまいります。

●議会だよりは、町政に興味を持っていただくための手段の一つです。さらにわかりやすく、「伝える広報」から「伝わる広報」になるよう、編集委員一同、心がけてまいります。

●綾川町議会も、町民の皆様のご意見を反映できるように、議会の活性化に向けて動いております。

●羽床小学校6年生の皆様、議会傍聴、ありがとうございました。今年も、議会だよりのご愛読をよろしくお願い申し上げます。

議会広報編集特別委員会

委員長 安藤 利光
副委員長 大野 直樹
委員 三好 重徳
委員 岡田 芳正
委員 井上 博道
委員 福家 功